

令和4年度第2回「稼ぐ」観光検討会ワーキンググループ 議事概要

日時：令和4年12月15日（木） 14：00～15：20

場所：南会津合同庁舎2階会議室

標記ワーキンググループにおいて、「観光客動向調査（夏期）」、「モニターツアー」についての報告及び南会津地域の観光ビジョン概要（案）について意見交換を実施したもの。主な意見は下記のとおり。

（1）「観光客動向調査（夏期）」及び「モニターツアー」について

- アンケート結果についてはおおむね想定内であった。観光客はこの地域で何がやれるのか分からないと思う。情報発信が課題ではないか
- 「藍染め」は奥会津物産館で体験できるが、誰かが紹介しないとなかなか体験をしない。
- アンケート結果で観光客は50代以上が多いが、土産や体験代等は若い女性がお金を落としているということで、どの層をターゲットにすれば良いか分からなくなった。
- ツアーの中に他の伝統文化も組み込めていけたら面白いと考えている。
- 「曲げわっぱの制作」は専門の方しかできないものだと思っていた。モニターツアーで「曲げわっぱの制作体験」というのは良かったと思う。可能であれば自分もやってみたい。
- モニターツアーのアンケートを見ると、ワークショップ講師の人柄や収穫体験を指導した農家の方の心遣いの部分等の評価が非常に高い。そのため、南会津に暮らしている人々の人柄というのも大きな魅力の一つとして捉えることができると考える。

（2）南会津地域の観光ビジョン概要（案）について

- 「伝統文化」や「自然」などがブランド化やイメージの定着につながっていくと思われるので、その発信方法をどの様にしていくのかを詰めて行く必要があると考える。
- モニターツアーのように「曲げわっぱ」や「草木染め」など具体的なコンテンツを押し出すのであればイメージしやすいのだが、ただ「ブランド化」との記載だとあまりにも大きすぎて、どうすれば良いかわからない。
- ブランド化とは何なんだろうと思う。以前、事例調査をしたことがあるが、ブランドとは行政が決めるものではなく、地域の人々が自分たちの誇りや魅力と言えるものがブランドになるのではないかと。
- 地域に目を向けると魅力的なものは多くある。個々の魅力にストーリー性を付けて広げていけば、この地域独自の観光ができるのではないかと。